

# 第 159 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事概要

日 時：令和 4 年 4 月 20 日（木）13：15～14：00

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題>

◇ コロナ感染拡大警報について議論した結果、医療のひっ迫が懸念される本島圏域（本島内市町村）を対象に発出することを決定した。

## 1 参加者

玉城 知事、照屋 副知事 池田 副知事、島袋 政策調整監、嘉数 知事公室長、  
宮城 総務部長、儀間 企画部長、金城 環境部長、宮平 子ども生活福祉部長、  
系数 保健医療部長、下地 農政企画統括監、松永 商工労働部長、  
宮城 文化観光スポーツ部長、島袋 土木建築部長、名渡山 会計管理者、半嶺 教育長、  
我那覇 病院事業局長、松田 企業局長、平良 県警警備第二課次席 宮里 感染対策統括監、  
高山 政策参与、テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

※玉城 知事、照屋 副知事はリモートでの出席

## 2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】

✓ 4/19 の新規発生は 1,547 名となっている。4/20 は 1,581 名

(2) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1～3-10】

➤ 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。

✓ 判断指標の人口 10 万人当たりの新規陽性者数は 600 人台、病床使用率は 50% 代、国基準の重症者用病床使用率は 10% 台で推移している。

- ✓ 参考指標の、新規 PCR 検査の陽性率は 15%台後半から 16%前後で推移している。一方で直近 1 週間の新規陽性者数の前週比は 1.07 と緩やかな下がり傾向。
- ✓ 新規陽性者数については、依然として 1,400~1,500 名で推移している。
- ✓ 療養者数は、入院中 318 名、宿泊施療養中は 561 名、自宅療養中は 8,701 名であり、療養者数が 10,000 人を超える状況が続いている。
- ✓ 非コロナ病床については、4/19 の総合計は 95.7%、本島のみでは 96.5%と高い水準となっている。
- ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は沖縄県が全国 1 位。前は九州での感染拡大が目立ったが、今回は北海道が 5 位と状況が変わっている。
- ✓ 人口 10 万人あたりの新規陽性者数の 1 週間平均推移をグラフで見ると、沖縄は横ばいからやや上向きな一方、東京や大阪、全国平均はやや下向きに推移している。
- ✓ 市町村別で見ると、糸満市、豊見城市が前週比 1.20 を超える状況が続いている。圏域別で見ると、北部以外は前週比 1.00 を超える状況となっている。
- ✓ 新規感染者に占める 60 歳以上の割合を見ると、3 月半ばに 7.8%まで減ったが、4 月に入り 10%台が続いている。
- ✓ 患者受入医療機関の就業制限(休業)状況を見ると、1/15 のピーク時に比べると半分強の職員が休業している。医師・看護師・コメディカルともに上向き状況が続いている。
- ✓ 推定感染源が飲食関係の陽性者数については、4/11 の週では 201 名となっており、前週より 21 名増加している。
- ✓ 4/11 の週における県外からの移入例は 39 人となっており、全体に占める割合も 1%が続いていたが 0.4%に減少。4 月 1 週目は 19 都道府県、4 月 2 週目は 13 都道府県からの移入例を確認している。
- ✓ 沖縄県疫学・統計解析委員会の分析によると、実効再生産数については、沖縄

本島 1.07、宮古 1.11、八重山 1.10 となっており、全県的に緩徐に感染拡大が続いている。

- ✓ 年齢階級別の増減率を見ると、10歳未満が1,685人と最多であり、10代1,658人、30代1,507人と続いている。
- ✓ 年齢階級別にみる新規陽性者数の推移をみると、10歳未満は第6波を超えて過去最多となっており、急速に増加していた90代が減少する一方で70代、80代の高齢者は増加が続いている。
- ✓ 幼年・若年層においては、保育・幼稚園児169人、小学生1,246人、中学生550人となっており、保健所による疫学調査によると、いずれの層でも家庭内が最多だが、保育・幼稚園児と高校生では友人の占める割合が高い。
- ✓ 高齢層においては、70代が247人と最も多く、家庭内感染の割合が高い一方で、80代と90歳以上ではいずれも入所施設での感染が最多となっている。医療機関での感染も多く、医療介護関連の感染を防ぐことが高齢層への感染拡大を防ぐ上で重要である。
- ✓ 4/3から4/10にかけて県内収集した48検体のうち、36例が感染力の強いとされる「BA2」系統のウイルスとなっており、沖縄県では「BA2」への置き換わりが進んでいる。
- ✓ 今後の見通しと対策としては、4月末より大型連休にはいることから、5月上旬より再び増加速度が加速する可能性がある。  
大型連休中に沖縄県へ来られる方には、渡航前に検査を受け陰性の確認をお願いし、ダイビングなどマスクを着用しない事業者は、予約客へ検査員性を確認してからの来県を求めている。
- ✓ 感染リスクのあるイベントに参加したあとは、1週間程度、重症かリスクの高い方の自宅訪問や食事を共にすることを避け、できるだけ3回目のワクチン接種を終わらせるようにしていただきたい。

- ✓ 高齢者施設での集団感染が続いているので、発熱やせきのある職員は必ず休ませること。また社会福祉施設の職員に対して2週間に1回の無料PCR検査を活用していただきたい。
- ✓ 今週の新規陽性者数は8,500人-11,500人となり、今週末までに入院患者数は340-380人に至り、うち重症患者数は4人前後と見込まれる。

### (3) 検査事業実績について【資料8】

- ✓ 一般無料検査の陽性率は8.08%となっており、前回の9.27%に比べると少し下がっている。学校PCR検査の実績は、受検者数が前週比+2,786人となる5,107人で、陽性率は1.72%となっている。前週の陽性率は4.09。

### (4) ワクチンの接種状況について【資料9】

#### ➤ 総括情報部より報告。

- ✓ 4/17時点での接種実績として、1回目70.7%、2回目70.0%、3回目36.1%が接種済みとなっており、3回目の接種は高齢者の78.9%が接種済みとなっている。
- ✓ 県広域接種センターは3か所設置しており、企業・団体枠の設置、接種券なしでの接種、予約なしの当日受付を実施している。また4月中に大型商業施設での接種を予定している。
- ✓ 県内全市町村の高齢者の70%以上に接種実施済み。
- ✓ 職域接種は現時点では9団体で開始済みとなっている。

### (5) 県立病院の状況について

#### ➤ 病院事業局より県立病院の状況について報告

- ✓ 4/20時点の県立病院の入院患者数は全体で65人、沖縄県の入院患者数318人

の 20.4%を占める。県立病院が現在確保しているコロナ病床の稼働率は 41.7%である。

- ✓ 県立病院の入院者数の内訳としては、北部病院 16 人、中部病院 17 人、南部医療センター13 人、宮古病院 2 人、八重山病院 11 人、精和病院 6 人の計 65 人となっている。また非コロナ病床稼働率は全体的に高くなっている。
- ✓ 北部病院では、医療フェーズ 5 だが重症者はなく、比較的落ち着いている。
- ✓ 中部病院では、看護師のマンパワー不足の中一般病床を確保することに難渋しており。高齢者施設のクラスター対策として全科から専門医とスタッフを割り当てているが、人員が足りていない。可能なら南部医療圏より応援をいただきたい。
- ✓ 南部医療センターでは、自宅療養中の子どもが薬剤による副反応（SJS）か、MIS-C が疑われ、人工呼吸管理となった。小児病棟ではコロナに感染した親子の入院ケースが相次いでおり、これ以上増加すると成人病棟に小児を入院させることになる。
- ✓ 宮古病院では、現在医療ひっ迫の状況ではない。宮古島市長より島内感染者の増加を懸念し問い合わせがあったが、その際にワクチンの励行、感染症対策についての呼びかけをお願いした。
- ✓ 八重山病院では、新規感染者数が 30 名ほどで推移していたが、直近では 50 名、日曜日では 70 名近くの感染報告があり増加傾向にある。
- ✓ 精和病院では、精神科病院でクラスターが発生した影響でコロナ患者が徐々に増加している。休職者は少なく病院の通常運用はできている。

#### (6) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料 7】

➤ 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。

- ✓ 宮古では 1 週間で 300 名程度の感染者が発生しており、前週より 1.2 倍前後と

なっている。年齢別にみると、10歳未満が25%で最大、10歳代で16%となっており、20歳未満の年代で全体の41%程度、40代から50代で17%となっており増加傾向。一方で20代から40代、60代以上は減少傾向にある。

- ✓ 職業別にみると、建設業や観光業での感染がやや目立つ。
  - ✓ 施設での感染がやや増加。今週は10件程度ある。内訳としてはほとんどが職員の陽性となっている。
  - ✓ 医療機関のクラスターについては4/19以降新たな陽性者は発生しておらず、終息したものと考えている。
  - ✓ 高齢者のワクチン接種が沖縄県内では高いこと、病院同士、病院と施設の連携がよくとれていることから、病床数のひっ迫度は低い。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況について報告。
- ✓ 4/13の週の感染者は420名となっており、前週比1.3倍程度と上がってきている。一日60名程度陽性者の発生が続いている。
  - ✓ 竹富町では新規感染者が7名発生し、3名は自宅療養している状況。
  - ✓ 年代別では、他の地域と異なり10歳未満、10歳代が下がっており、40代から70代の割合が増えている。
  - ✓ 10歳未満及び10歳代では家庭内感染や学校での感染が主である。
  - ✓ 職業別に見ると飲食店での陽性者が増えている。
  - ✓ 高齢者施設クラスターについて、4/16以降新たな感染者は発生しておらず、終息を予測しているが、別の施設での発生が確認されており、濃厚接触者については検査等対応していく。
  - ✓ 通常の事業所でも5名以上の陽性者が発生しているところがあるが、保健所でなかなか手が届いていないこともあり、事業所に対応をお願いしている。

(7) 空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の運用状況等について【資料 10】

- 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の状況について報告。
- ✓ 空港 PCR 検査プロジェクトについて、4/11 の週の受検者は 2,807 名で、その内 50 名が陽性であった。
- ✓ 空港別 PCR 検査結果の内訳を見ると、宮古空港及び下地島空港で受検者が増えており、宮古島での感染拡大の時期が検査にも反映されている様子が見られる。
- ✓ 那覇空港抗原検査について、受検者は 324 名で、その内陽性は 0 であった。
- ✓ TACO について、4/11 の週の電話対応件数は 25 件で、うち健康相談・問診実施数は 10 件となっている。空港における体調不良者数が 1 名、問診及び検査の結果陰性であった。
- ✓ RICCA について、4/8 時点の登録者数は 148,106 人となっている。(前週より +571)

(8) 報告事項への意見等について

- ✓ 4/1 から 4/17 までの期間、生徒のコロナ感染者について分析報告したところ、家庭内 32%、学校 20.4%、不明 34.7%、その他 12.9%。という内訳となった。
- ✓ 学校での陽性者の 89%は部活動に関わるものであり、状況確認したところ、部活動内の練習などではなく、部室での長期間の会話や換気されていない場所での更衣、部活動後の会食、密の状態でのマイクロバスでの移動での感染が認められた。
- ✓ 今後の対策として部室利用の際には密さける、マスクして短い時間の更衣や部室の換気、部活動後の会食禁止、マイクロバス等での移動の際には密にならない座席配置に取り組む。

- ✓ 5月の高校総体に向けて各校長、体育主任の集まりがあるため、その中で取り組みの確実な実施をお願いするところ。
- ✓ この分析は疫学データと一致している。アメリカのデータだが、学校で食堂の閉鎖や学校内での活動を抑止することにより、校内での陽性者が増えた。
- ✓ 目に届くところから目の届かないところで行動が自由になったため、学校内の活動を一律に止めるよりは、感染対策を強化して学校生活が送れるよう支援していく形が望ましい。
- ✓ 部活動は学校の顧問がいるので対応しやすいが、小学校のクラブ活動は地域の方をお願いしている部分があり、学校の方からの感染対策の指導が届きにくい。小学校以下の子供たちの方がワクチン未接種であることが多いため、そこに対しても部活動と同じように指導があるとよい。
- ✓ 市町村教育委員会を通して取組の周知を図っていきたい。

### 3 議題 コロナ拡大警報の発出について

- 総括情報部より、コロナ拡大警報の発出について説明があった。
  - ✓ 県の対処方針にて、感染拡大による医療のひっ迫を防ぐため、政府に対しまん延防止等重点措置指定の要請を検討するとあり、目安として病床使用率が各圏域 60%以上とある。
  - ✓ 4/16 に 60% を超え、4/18 時点で 62.5% となっており、医療提供体制に負担が生じていることから、本島圏域に「コロナ感染拡大警報」を発出する。
  - ✓ 4/16 にまん延防止等重点措置指定要請の検討の目安である 60% を超えたが、4/14 の対策本部会議にて県対処方針を変更し、感染拡大の抑制に取り組んでいることから、施策の効果を見極めるため、状況を注視することとしたい。
  - ✓ コロナ拡大警報の内容としては、現在感染者の多い子どもと重症化しやすい高齢者を中心に記載している。

➤ 議題について、各委員から意見があった

- ✓ 症状がある場合は登園登校、塾や習い事を控えるなどストレートに表現した方がよい。また、リスクのある行動についても具体的に記入した方がよい。
- ✓ 来訪者に向けた表現があるが、実効性を考えると来訪者を受け入れる事業者に対して伝える形になるようなメッセージにするほうがよい。
- ✓ その他文言や表現についての指摘。

➤ 総括

- ✓ 委員から意見のあった項目を追記、修正し、本島圏域（本島内市町村）コロナ拡大警報の発出を決定した。

閉 会